



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所 東
 コード番号 3660 URL http://www.istyle.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年6月期第2四半期 | 8,426 | 122.9 | 731 | 79.6 | 710 | 79.7 | 474 | 62.8 |
| 28年6月期第2四半期 | 6,857 | 55.4 | 919 | 178.0 | 891 | 170.5 | 755 | 289.0 |

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 553百万円(111.8%) 28年6月期第2四半期 495百万円(△25.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年6月期第2四半期 | 8.20 | 7.87 |
| 28年6月期第2四半期 | 13.14 | 12.89 |

(注) 当社は、平成27年10月1日付、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年6月期第2四半期 | 13,204 | 6,266 | 46.8 |
| 28年6月期 | 9,663 | 5,690 | 58.4 |

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 6,183百万円 28年6月期 5,643百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年6月期 | — | 0.00 | — | 0.50 | 0.50 |
| 29年6月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 29年6月期(予想) | — | — | — | 0.50 | 0.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 18,609 | 30.3 | 1,450 | △17.2 | 1,352 | △18.4 | 854 | △33.0 | 14.74 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 29年6月期2Q | 60,772,400株 | 28年6月期 | 60,528,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年6月期2Q | 2,709,740株 | 28年6月期 | 2,709,740株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 29年6月期2Q | 57,850,408株 | 28年6月期2Q | 57,473,108株 |

(注) 当社は、平成27年10月1日付、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは平成28年8月3日発表の中期経営計画に基づき、当連結会計年度を可能性を拡大するフェーズと定め、事業領域の拡大と組織の構築に注力しております。期初より各セグメントにおいて投資を強化しており、第1四半期には人員増に備えた本社増床を行いました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間(平成28年7月1日～平成28年12月31日)の業績は次のとおりとなりました。

| | | |
|------------------|----------|------------------|
| 売上高 | 8,426百万円 | (前年同期比 22.9%増) |
| 営業利益 | 731百万円 | (前年同期比 20.4%減) |
| 経常利益 | 710百万円 | (前年同期比 20.3%減) |
| 税金等調整前四半期純利益 | 706百万円 | (前年同期比 33.9%減) ※ |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 474百万円 | (前年同期比 37.2%減) ※ |

※前第1四半期連結累計期間において、海外子会社の売却益として特別利益177百万円を計上しております。

各セグメントの業績につきましては、以下のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より報告区分のセグメントを変更しており、以下の前年同四半期比較については前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① On Platform事業

当セグメントには、当社が運営する美容系総合ポータルサイト「@cosme(アットコスメ)」を基盤とした各種サービスが属しており、広告をはじめとするBtoBサービスと一般ユーザー向けのBtoCサービス双方を展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、「@cosme」のブランディング広告やバナー広告、BtoB課金サービスが順調に成長いたしました。BtoCサービスにおいては、プロモーションを抑制していたためプレミアム課金の会員数は低下傾向にありましたが、徐々に下げ止まりを見せたことに加え、ブルームボックスの出荷増により堅調な推移となりました。また、M&Aによりグループに加わった株式会社Eat Smartの売上を10月から連結しております。収益への貢献はまだ大きくないものの、今後美容に関わる「食」分野へ領域を広げていく一歩であり、サービス面、営業面で連携を進めております。

なお、当社グループが運用するサービスサイトの月間のサイト訪問者(ユニークユーザー)数につきましては、特段のプロモーションを行っていないながら、安定的に推移していると認識しております。ユニークユーザー数もKPIの一つの為、SEO対策や訪問頻度の向上により増加を図っておりますが、それ以上にユーザー一人当たりの収益を上げることを目標にサービス設計を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

| | | |
|---------|----------|----------------|
| 売上高 | 3,335百万円 | (前年同期比 17.3%増) |
| セグメント利益 | 1,245百万円 | (前年同期比 16.6%増) |

② Beauty Service事業

当セグメントには、化粧品ECサイトの運営、化粧品専門店「@cosme store」の運営等が属しております。

ECにおいては、ポイント発行や送料無料キャンペーン等の施策により、順調に売上が成長いたしました。店舗におきましては、当四半期において池袋、新宿、函館において3店舗オープンしたことに加え、M&Aにより北陸・北関東エリアの4店舗が追加されました。一方で、新規出店に伴うコスト増や新規事業への取り組みにより、費用も増加しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

| | | |
|---------|----------|----------------|
| 売上高 | 3,727百万円 | (前年同期比 36.5%増) |
| セグメント利益 | 75百万円 | (前年同期比 67.5%減) |

③ Global事業

当セグメントには、日本国外で展開するサービスが属しております。

海外企業への化粧品卸売においては、営業強化により現地通貨ベースで26.1%の増収となりましたが、為替の影響により8.7%の増収にとどまりました。中国における化粧品EC販売においても、現地通貨ベースでは9.4%の増収となったものの、為替の影響により5.1%の減収となりました。また、原価率の高い商品が売れ筋となったことに加え、独身の日※におけるプロモーションコストや、配送コストの負担が増加いたしました。商品見直しや配送コストの高いECサイトへの出店を一時的に閉鎖するなどの対応を行いました。22.8%の減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

なお、当第2四半期連結会計年度の期中平均為替レートは、1香港ドル13.65円（前期比2.08円の円高）です。

| | | | |
|---------|----------|--------|---------|
| 売上高 | 1,267百万円 | （前年同期比 | 0.3%増） |
| セグメント利益 | 111百万円 | （前年同期比 | 22.8%減） |

※独身の日：中国で11月11日に開催されるEコマースでの大規模な安売りセール

④ その他事業

当セグメントには、美容部員等を派遣する人材派遣事業と、創業間もない企業も含め幅広い成長ステージの企業に投資する投資育成事業とが属しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、前第1四半期より開始した派遣事業の成長により増収いたしました。投資育成事業においては一部の営業投資有価証券において引当金を計上しておりましたが、31百万円の戻入を行ったこと等により、増益となりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

| | | | |
|---------|-------|--------|---------------|
| 売上高 | 97百万円 | （前年同期比 | 386.5%増） |
| セグメント利益 | 28百万円 | （前年同期 | セグメント損失29百万円） |

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ3,541百万円増加し、13,204百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ3,046百万円増加し、9,848百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,306百万円、受取手形及び売掛金が494百万円、商品が426百万円、営業投資有価証券が431百万円、短期貸付金が420百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ495百万円増加し、3,357百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が21百万円減少したものの、有形固定資産が236百万円、無形固定資産が280百万円増加したことによるものであります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ2,964百万円増加し、6,938百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ971百万円増加し、3,525百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が645百万円、買掛金が370百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,993百万円増加し、3,413百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,985百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ577百万円増加し、6,266百万円となりました。これは主に、利益剰余金が451百万円、為替換算調整勘定64百万円が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月3日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,321 | 4,626 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,592 | 2,086 |
| 商品 | 722 | 1,148 |
| 営業投資有価証券 | 744 | 1,175 |
| 短期貸付金 | 3 | 423 |
| その他 | 463 | 401 |
| 貸倒引当金 | △42 | △12 |
| 流動資産合計 | 6,802 | 9,848 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 409 | 645 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 133 | 186 |
| ソフトウェア | 739 | 904 |
| その他 | 71 | 133 |
| 無形固定資産合計 | 943 | 1,223 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 944 | 784 |
| その他 | 565 | 704 |
| 投資その他の資産合計 | 1,510 | 1,488 |
| 固定資産合計 | 2,862 | 3,357 |
| 資産合計 | 9,663 | 13,204 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 525 | 895 |
| 短期借入金 | 50 | - |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 591 | 1,236 |
| 未払法人税等 | 457 | 232 |
| 賞与引当金 | 156 | 141 |
| その他 | 773 | 1,020 |
| 流動負債合計 | 2,553 | 3,525 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,412 | 3,397 |
| その他 | 9 | 17 |
| 固定負債合計 | 1,420 | 3,413 |
| 負債合計 | 3,974 | 6,938 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,609 | 1,615 |
| 資本剰余金 | 1,543 | 1,550 |
| 利益剰余金 | 2,482 | 2,933 |
| 自己株式 | △281 | △281 |
| 株主資本合計 | 5,353 | 5,816 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 249 | 261 |
| 為替換算調整勘定 | 41 | 105 |
| その他の包括利益累計額合計 | 290 | 366 |
| 新株予約権 | 39 | 58 |
| 非支配株主持分 | 7 | 25 |
| 純資産合計 | 5,690 | 6,266 |
| 負債純資産合計 | 9,663 | 13,204 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 6,857 | 8,426 |
| 売上原価 | 2,925 | 3,805 |
| 売上総利益 | 3,932 | 4,621 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,013 | 3,890 |
| 営業利益 | 919 | 731 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 為替差益 | - | 14 |
| 投資事業組合運用益 | 2 | 1 |
| 助成金収入 | 2 | - |
| その他 | 2 | 4 |
| 営業外収益合計 | 7 | 19 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3 | 6 |
| 為替差損 | 16 | - |
| 持分法による投資損失 | 15 | 32 |
| その他 | 2 | 1 |
| 営業外費用合計 | 35 | 40 |
| 経常利益 | 891 | 710 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | 177 | - |
| 特別利益合計 | 177 | - |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 2 |
| その他 | - | 2 |
| 特別損失合計 | - | 4 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,067 | 706 |
| 法人税等 | 311 | 229 |
| 四半期純利益 | 756 | 477 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1 | 2 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 755 | 474 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 756 | 477 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △229 | 12 |
| 為替換算調整勘定 | △33 | 64 |
| その他の包括利益合計 | △262 | 76 |
| 四半期包括利益 | 495 | 553 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 494 | 551 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1 | 2 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 (百万円) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円) |
|-----------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------|--------------------|-------------|-----------------------|---|
| | On Platform 事業 (百万円) | Beauty Service事業 (百万円) | Global事業 (百万円) | その他 事業 (百万円) | 合計 (百万円) | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,843 | 2,731 | 1,263 | 20 | 6,857 | — | 6,857 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1 | 7 | 14 | — | 23 | △23 | — |
| 計 | 2,844 | 2,738 | 1,277 | 20 | 6,879 | △23 | 6,857 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 1,068 | 230 | 143 | △29 | 1,413 | △494 | 919 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△494百万円は、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△500百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成27年9月11日付で株式会社メディア・グローブの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが44百万円増加しております。

第1四半期連結会計期間から「企業結合に関する会計基準」等を適用し、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間において、「On Platform事業」セグメントで17百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 (百万円) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円) |
|-----------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------|----------------|-------------|-----------------------|---|
| | On Platform 事業 (百万円) | Beauty Service事業 (百万円) | Global事業 (百万円) | その他事業 (百万円) | 合計 (百万円) | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,335 | 3,727 | 1,267 | 97 | 8,426 | — | 8,426 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5 | 1 | 20 | 17 | 43 | △43 | — |
| 計 | 3,340 | 3,728 | 1,287 | 114 | 8,469 | △43 | 8,426 |
| セグメント利益 | 1,245 | 75 | 111 | 28 | 1,459 | △728 | 731 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△728百万円は、セグメント間取引消去4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△731百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において株式会社Eat Smartの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「On Platform事業」セグメントにおいてのれんが77百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、経営管理区分を見直し、経営情報をより適切に表示するために、第1四半期連結会計期間から報告セグメントを従来の「マーケティング事業」、「小売事業」、「美容事業支援事業」及び「投資育成事業」の4区分から、「On Platform事業」、「Beauty Service事業」、「Global事業」及び「その他事業」の4区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成した情報につきましては、「前第2四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)」の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。